

彫刻屋台が 彩るまち 鹿沼

TOCHIBURA STAFF DIARY



GUEST

平野早矢香



今回のとちぶらは「彫刻屋台が彩るまち 鹿沼」。
今年、ユネスコ無形文化遺産登録10周年を迎える
「鹿沼秋まつり」を巡ります。

リポーターは、特別ゲスト元卓球選手で鹿沼市出身の平野早矢香さん。地元のお祭りで親しんできたものの、「実は詳しくは知らない」とのこと。今回のぶらりで、どんなものに会えるのでしょうか？

LET'S GO!

BURARI 01

鹿沼秋まつりを彩る彫刻屋台の魅力

最初に訪れたのは鹿沼屋台のまち中央公園内にある「屋台展示館」。ここには、「鹿沼秋まつり」で実際に使用されている彫刻屋台が展示されています。まず目に飛び込んできたのは、入口にある高さ5mもの見事な彫刻。「籠彫り」の技術で彫られた継ぎ目のない網目の中には、なんと動く球が…平野さんも「どうやって作ったの!?!」とびっくり。案内をしてくれた鹿沼市観光協会の渡邊さんの話に、真剣に耳を傾ける平野さん。間近で見る彫刻屋台に感動していました。カメラが止まった後も熱心に話に聞き入る姿が印象的でした。



BURARI 02

彫刻屋台を足元から支える 車師の技

続いて訪れたのは、彫刻屋台の車輪を作る車師がいる「乾桜木工所」。2〜3トンもの重さがある屋台を支える職人さんの職場を見学！桜の木は日本で一番硬いため、車輪の材料に適しているそうです。車輪として使用するにはよく乾燥させることが重要で、最低でも10年にかかるんだとか。10年と聞いて驚く平野さん。立派な車輪と一緒にパシャリ。お土産に桜の木でできたツボ押しをいただいちゃいました！



BURARI 03

鹿沼秋まつりの見どころをチェック！

お祭りの会場になる今宮神社と石橋町交差点を訪れた平野さん。「鹿沼秋まつり」の正式名称は「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」。つまり今宮神社は、お祭りの中心ともいえる場所です。ここに27台もの屋台が集まり、神事が行われるんだとか。一方、石橋町交差点は、お祭り一番の見どころでもある「ぶっつけ」が行われる場所。「ぶっつけ」は、豪華な彫刻屋台が向かい合い、お囃子を競い合うもので、迫力満点！お祭りの会場を見て、平野さんは当日のにぎわいや熱気あふれる情景を思い浮かべていました。

BURARI 04

こんにゃく料理を満喫

最後に訪れたのは、鹿沼屋台のまち中央公園内にある「おこんにゃく茶屋」。鹿沼在来種の希少なこんにゃくいも「和玉」を使った、こんにゃく料理が楽しめるお店です。
※おこんにゃく茶屋は、10月リニューアル予定
見たこともないこんにゃく料理を前に、「これもこんにゃくなんですか!？」と驚く平野さん。希少なこんにゃくいも「和玉」とも記念に1枚。食リポはあまりしたことがなく、緊張したという平野さんの食リポにも注目です。
今回の撮影で、改めて「鹿沼の秋まつり」について知ることができたと話す平野さん。最後にモニュメントの前で記念撮影！楽しい口けをありがとうございました。



栃木県 総合政策部 広報課

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20 県庁舎本館 3 階
TEL.028-623-2190 FAX.028-623-2160
✉ kouhou@pref.tochigi.lg.jp

お問い合わせ

今回の内容を動画でも
お楽しみいただけます♪

